

第29回世界競歩チーム選手権 20km 競歩 山西利和選手が優勝 ～日本チームの国別団体2位に貢献～

愛知製鋼陸上競技部（監督：児玉泰介）所属の山西利和選手と諏方元郁選手が、3月4日（金）・5日（土）にオマーン・マスカットにて開催された「第29回世界競歩チーム選手権」の男子20km 競歩に日本代表として出場しました。

当日は、気温26℃・湿度55%という環境で、競歩では珍しい高低差のある特徴的なコースの中、山西選手は序盤から積極的なレースを展開し、他を寄せ付けぬ圧倒的な強さを見せつけ、1時間22分52秒でゴールし初優勝を果たしました。2019年世界陸上競技選手権の優勝、東京2020オリンピック競技大会の銅メダル獲得に続く大躍進で、今後につながるレースとなりました。国際大会初出場となった諏方選手は、1時間27分51秒の23位でゴールしました。また国別団体では、日本チームは2位となりました。

愛知製鋼陸上競技部では、今後も更なるチーム力強化を推進し、世界の舞台で活躍できる選手の育成に努めるとともに、よりいっそうの日本のスポーツ振興と地域貢献を果たしてまいります。



山西利和選手

諏方元郁選手